

連合と議員の協力関係を更に強化

連合群馬議員懇談会第23回定期総会が、12月22日に高崎ビューホテルで開催され、議員懇会員、産別・地協代表の82名が参加しました。

総会では、経過報告、会計監査報告を確認し、県民意識調査の策定や分析の取り組みなどを重点とした2013年度活動方針、予算、役員体制が満場一致で確認されました。黒沢代表から「議員懇と連合群馬双方の協力関係を更に強化し、しっかり活動を進めたい」と決意を新たにあいさつがありました。

総会終了後には茂原副知事を招き、23年度から5年計画で進めている「はばたけ群馬プラン」について講演をいただき、進捗状況や課題について共有しました。副知事は「県政を預かる行政と議員の方々が一丸となって、本県の可能性を最大限に活かし、今後も取り組みたい」と思いを述べられました。



更なる連携強化を確認した議員懇会員

加盟組合員の生活向上をめざして!

連合群馬ユニオン第14回定期大会と学習会が、1月19日に県勤労福祉センターで開催され、加盟組合や執行部、組織拡大委員など33名が参加しました。

大会の前段には、組合員の生活を守る視点から、社会問題でもある多重債務に陥らないための予防策などを学ぶ学習会を開催し、注意喚起に取り組みました。

大会では、はじめに木暮執行委員長から「皆さんは、自ら汗を流し大変な苦勞をされて組合を立ち上げた。その時の思いを持ち続け、組合員や会社のために引き続き尽力していただきたい。」とのあいさつがありました。その後、加盟組合・個人加盟者、組織拡大の取り組みなどの活動経過報告と会計報告を行いました。新年度活動方針としては、加盟組合・個人加盟者の労働条件維持、改善を目指す積極的な取り組みと、小島副会長を執行委員長とする新たな役員体制が全会一致で確認されました。



退任された
木暮前執行委員長



活動方針、新役員体制が確認された

新任役員、連合の取り組みを学ぶ

新任役員研修会が、1月19日に勤労福祉センターで開催され、産別・単組、地協から新しく就任された役員70名が参加しました。

組織担当の小島副会長から、「これまで苦勞された方々がいるから今の労働組合活動ができていて、ということ踏まえ理解を深めていただきたい。」とあいさつがありました。

次に鈴木克幸副事務局長から、「地協や単組の活動に、少しでも役立てていただきたい」と補足した後、①戦後の労働組合結成から1989年に連合が結成されるまでの運動の歴史、②連合群馬の組織運営、③地域に根差した顔の見える運動を進める地協活動の定着化に向けた三本柱の活動概要と目的（政策・制度要求と提言、地域なんでも労働相談、ふれあいフェスティバル）、④第13期活動方針、⑤働くことを軸とする安心社会の実現、⑥1000万連合実現プロジェクトについて説明を行い、連合の取り組みについて理解を深めました。



連合について学習する新任役員の皆さん



あいさつする
小島副会長

群馬の労働問題を政労使で共有

政労使実務者会議が、12月18日に群馬労働局で行われ、経営者協会、労働局、連合群馬から15名が出席し、労働行政の取り組み強化に向けた意見交換を行いました。

群馬労働局より、最近の労働行政の動向として、労働相談に関する内容や監督指導状況、労働市場動向や求人・求職状況などの説明がありました。

連合群馬からは、労働局の取り組みに対し、年間労働時間に対する対応、労働災害による死傷者数の分析結果と対策、賃金不払残業に対する施策、高校新卒者就職面接会の実績と今後の開催予定、メンタルヘルスによる退職者の再就職支援状況、職場のパワハラ問題対策などについて意見提起を行いました。



経営者協会、労働局と意見交換する副事務局長